

自ら動き、
知的探究心を
高める!

研究会紹介

RBSで活動が行われている研究会と
注目の院内活動を紹介します。

ビジネスデザイン研究会

“伝統ある研究会の感謝と期待”

9月12日のビジネスデザインフォーラムをもって13期生中心のBD研活動は終了しました。今後は14期生が主体となって活躍する番となります。

今年度の活動方針は、「メンバー全員の知恵を結集し、楽しみながら活動する」をモットーに様々な活動を実施してきました。ブログ設立、RBSパンフレット作成、進学・裏履修相談会、JBCC活動、MBAエキスポ、年末大掃除、追い出しコンパ、新入生歓迎会、BDフォーラム等枚挙に暇がありませんが、各メンバーがリーダーシップを発揮し、また自らの強みを最大限に活かしながら楽しく活動してきました。活動していたメンバーにおいては、振り返ると非常に感慨深いものがあるでしょう。

BD研は事業構想力を醸成、RBSの価値向上、院生自治など広い役割を担う伝統ある研究会です。我々13期生同様、14期生の皆様においても楽しく積極的に活動してほしいと思っています。なぜなら大学院生活の2年間はあまりに短く、その瞬間を逃すと決して取り戻せないスピードで時間が経過していくからです。

次年度においてもRBS生の皆さんが貴重な大学院生活を充実させるため、BD研がその一翼を担える研究会であることを切に願い、これまでの感謝と次世代への期待の言葉に代えさせていただきます。

(13期生代表 阿部 正樹)



13期生から14期生へBD研究会を引き継ぐ!

入学してから早くも半年以上が過ぎました。入学前の進路相談会、MBAエキスポに始まり、入学式当日の歓迎会、続く裏履修相談会と、私たち14期生のRBS生活は、BD研13期生を中心とした先輩方の手厚いサポートのもとスタートしました。入学時に感じていた大学院生活への期待と不安。お陰さまで不安は一気に吹き飛び、今では期待以上の、学びにおいても交遊においても充実したキャンパスライフを送っています。短くあつという間だと聞く、大学院生活。それは充実している故だと感じています。実際、早くも13期生からのBD研引き継ぎの時を迎えました。

RBSらしさとして、“学ぶ意欲の高さ、仲の良さ、コミュニケーション能力の高さ”があげられるかと思えます。今まで築いてきたRBSらしさ・伝統を引き継ぎながら、私たち14期生らしさも大切に、協力し合い、楽しみながら今後も活動していきます。13期生の熱い想いのこもったバトンをしっかりと受け取り、様々な期待に応えるべく、RBSを大いに盛り上げていきましょう!

(14期生代表 小松 智子)

Biz Com編集部

『Biz Com 49号』発行記念祝賀会を開催

7月23日、日比谷松本楼 立教大学セントポールズ会館店にて、Biz Com 49号の発行記念祝賀会を開催しました。本祝賀会は、49号の執筆にご協力いただいた方々を招いて感謝の意を伝えるとともに、Biz Com 編集部員との交流を深めることを目的に行われたものです。

当日は、亀川先生をはじめ、本号で執筆をお願いした方々にお声掛けし、新任教授紹介のページでは田中先生と安田先生、優秀論文紹介のページでは受賞者である12期生の方々にもご参加いただきました。和気あいあいとした雰囲気の中で互いの親睦が深まり、編集部として今後に向けた意気を高める貴重な機会となりました。



Biz Com 編集部では、今後もRBS内の旬な情報をお届けしていきたいと考えており、院生、修了生の皆様から幅広い情報提供をお待ちしています。

(14期生 立花 和将)

ホスピタリティ研究会

キッザニア東京を見学

今回はフィールドワークとして7月19日にキッザニア東京を見学した件をレポートします。キッザニアとは子供が楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる「子供が主役の街」です。ここでは90種類以上の仕事やサービスを体験することができます。今回のフィールドワークの趣旨は、キッザニアがゲスト(子供たち)に提供するホスピタリティについて学ぶことでした。私はキッザニアがゲストを惹き付ける魅力とは何か、また、なぜこれほどまでにリピーターが多いのか、という点に留意しながら、施設内を見学しました。

フィールドワークとして私なりに考えたキッザニアのホスピタリティは、“本物志向”です。キッザニアは街というよりも独立国家のようです。そこにはキッザニアで利用できる通貨が存在し、子供たちは自ら提供した仕事やサービスで得た賃金を、他のサービスを受けるための対価として利用することができます。ここでは子供たちは、独立した経済人として活動しているのです。このことは子供たちに自ら考える姿勢を身に付けさせ、自立心・好奇心を掻き立てることに繋がります。この“本物志向”にこそキッザニアのホスピタリティがあるのだと感じました。



(14期生代表 遠藤 康紀)

編集後記

EDITOR'S POSTSCRIPT

創刊50号への皆さんの協力に本当に感謝です。次号以降も更にバイタリティに溢れた紙面作りになりますように。(13期編集長 杉山 章)

記念すべき50号の発刊に関わることができ、大変光栄に感じております。笑いあり、刺激あり、涙ありの編集作業でした。(土手内 真奈美)

取材と座談会を通じて皆さまから強力なパワーを受け取りました。MBAでの学びは実践に活かしてこそ!を痛感しています。(小松 智子)

簡単なことでも、難しいことでも、焦らず、やっつけよう。あつという間の学生時代だからこそ、最高の思い出を作っつけよう。(張 閃閃)

編集作業の中で様々な出会いがありました。Biz Comを通じて多くの繋がりが生まれることを願っています。(立花 和将)

今回は重い部分を担当したので、責任重大でした。少しでも外部の方に国内MBAに興味を持って頂けたら幸いです。(森下 開理)

RBSは凄すぎます。容赦なく押し寄せてくる濃密な日々。留まるとは許されない充実した楽しい時間です。(内田 孝嗣)

入学から7ヶ月、学んで出会って成長して、まだ見ぬ明日の楽しみにワクワクした時間を楽しんでいます!(亀田 さおり)

1年生も残りわずか。仕事とは違う学びの場として苦悩しながらも今後も楽しく学んでいきたいと思えます。(山本 譲士)

立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科

Biz Com Vol.50

発行責任者:青淵 正幸 ■ 編集長:杉山 章 ■ 編集委員:(13期生) 阿部 正樹、神野 真琴、南 陽子、(14期生) 内田 孝嗣、亀田 さおり、小松 智子、立花 和将、張 閃閃、土手内 真奈美、森下 開理、山本 譲士 ■ デザイン:株式会社ヤギンタデザイン ■ 印刷:藤原印刷株式会社
【ビスコム】2015年11月28日発行 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。